

## 第4学年1組 社会科学学習指導案

平成21年6月9日(火) 第2校時

授業者 T1 教諭

T2 教諭

- 1 単元名 住みよいくらしをつくる  
小単元名 ごみのしよ理と利用

### 2 小単元の目標

- ・ごみの処理と自分たちの生活とのかかわりについて関心を持ち、ごみ処理の仕事を意欲的に調べ、進んでリサイクルやごみ減量化に努力しようとする。(関心・意欲・態度)
- ・ごみ処理の仕事が、組織的・計画的に進められていることによって、地域の人々の健康な生活の維持と向上が図られていることについて考えることができる。(思考・判断)
- ・ごみの出し方、処理や再利用の方法などについて、見学したり調査したりして分かったことを絵、グラフ、文章などにわかりやすく表現することができる。(技能・表現)
- ・ごみの処理と自分たちの生活や産業とのかかわりや、ごみ処理の仕組み、環境保護の大切さについて理解することができる。(知識・理解)

### 3 小単元について

この小単元は、単元「住みよいくらしをつくる」の中に位置づけられている。単元の学習内容は、「地域の人々の健康で住みよいくらしを守るために行われているごみの始末や飲料水の確保について、見学・調査したことをわかりやすくまとめることや表現することを通して理解すること。また、これらの対策や事業が組織的・計画的に行われ、人々の住みよいくらしの維持と向上に役立っていることを捉えること。」である。

ここでは、生活の中のごみについて調べ、処理の仕組みやその仕事に関わる人々の働きに関心を持つ。また、見学や聞き取りなどを通して、ごみ処理や環境に関する諸問題について追究するとともに、リサイクルや環境保護の大切さに気づき、自分たちにできることについて考える。そして、わたしたちのくらしがたくさんの人々によって支えられていることや、自分も社会の一員であることを意識させることをねらっている。

単元の系統性としては、第5学年「わたしたちの国土と環境」、第6学年「わたしたちの生活と政治」さらには中学校での公民的分野へと繋がっている。

### 4 児童について

社会科の学習に関心を持ち、意欲的に学習する児童が多い。「伝統工業 越前和紙」の学習では、パンフレットや写真などを持って来たり、和紙の里の見学時には、進んで質問したりする姿も見られた。また、紙漉体験や実物に触れることを通して、いろいろな発見ができ、学習がより深まった。

児童にとって「ごみ」は身近な課題である。「利用」についても、全校でエコキャップ運動に取り組んでいるので関心がある。しかし、その処理の仕組みやリサイクルの意義については、よく分かっていない児童が多い。そこで、この学習での調べ活動や見学等を通して、ごみの処理と利用に対しての児童の意識を高めるとともに実践化を図っていきたい。

### 5 指導について

4年の社会科では、テーマを「○○○○たんてい団」として、問題解決型の学習過程で進めている。「?(問題把握)」「予想」「調べよう(事実調査)」「結果(関係考察)」「!(なるほど)」「まとめ」「発展追究」の学習パターンを繰り返すことによって定着を図り、各自が見通しを持ちながら学習を進められるようにしていきたい。そして、高学年や中学校での社会科学習の基礎となる力を身につけさせ、学びに連続性を持たせたい。

本時では、「?(問題把握)」のための課題づくりを行う。各自に課題を持たせることによって、調べ学習やクリーンセンター見学への意欲づけを図りたい。まず、ごみ調べをして見つけた自分なりの課題をカードに書く。そして班の中や全体の場で自分の思いを伝え合う。その際、伝え合うことの基本的なルールの中学年の目標(まなざしで聞く、最後までしっかり聞く、場に応じた声の大きさで話す、順序だてて話す、聞く人を見て話す)を意識させながら理由を述べた後、相手の考えに対して感想を言えるようにしたい。このような活動を通して、個人テーマ「学ぶ楽しさを味わいながら、思いを伝え合える郷土学習の工夫」、研究主題「思いをふくらませ、学び合い高め合う子どもの育成」に迫っていきたい。

6 指導計画（12時間配当）

時	学習内容	ねらい	関	考	表	知	評価規準
1	家庭内のごみの種類，ごみの出し方を調べる。	くらしの中から出るごみの種類やごみの出し方を調べることができる。	◎				（関心・意欲・態度） 家庭内のごみの種類やごみの出し方を調べることができる。
2 本時	ごみ調べをして，疑問に思ったことや調べてみたいことを話し合い，課題づくりをする。	ごみ調べや話し合いを通して，自分なりの課題を持つことができる。		◎	○		（思考・判断） ごみについての疑問や調べたいことを考えることができる。 （技能・表現） 自分の考えを伝えることができる。
3	ごみステーションと収集車の様子を調べ，話し合う。	ごみステーションと収集車の様子を調べ，ごみの収集が様々な工夫のもとに行われていることを理解できる。				◎	（知識・理解） ごみを収集するための工夫について理解できる。
4	燃やせるごみの処理の仕方を調べる。	燃やせるごみの処理の仕方が理解できる。				◎	（知識・理解） 写真や絵から燃やせるごみの処理の仕方が分かる。
5	資源ごみの収集と処理，再利用について調べる。	資源ごみの収集と処理について調べ，再利用の大切さについて考えることができる。		◎			（思考・判断） ごみを資源として生かすことの大切さについて考えることができる。
6	そ大ごみの処理の仕方について調べる。	そ大ごみの処理の仕方について調べ，リサイクルできる物は有効に活用されていることが理解できる。				◎	（知識・理解） そ大ごみの処理の仕方について理解できる。
7	ごみの処理の変化について調べる。	生活の変化とごみの処理の変化について理解できる。				◎	（技能・表現） 生活の変化とごみの処理の変化についてまとめることができる。
8	ごみを減らすための取り組みについて話し合う。	ごみを減らすために自分たちができることを考え，話し合うことができる。	◎	○			（関心・意欲・態度・思考・判断） リサイクルやごみ減量化の大切さについて自分の考えを持つことができる。
9	クリーンセンターの見学計画を立てる。	クリーンセンターの見学計画を立てることができる。	◎				（関心・意欲・態度） 見学で見てくることや質問することを考えることができる。
10 11	クリーンセンターの見学をする。	クリーンセンターの見学で見たことや聞いたことをメモすることができる。	○			◎	（関心・意欲・態度） 意欲的に見学することができる。 （技能・表現） 見学で見たことや聞いたことをメモすることができる。
12	新聞づくりをする。	学習をふりかえり，新聞にまとめることができる。	○			◎	（関心・意欲・態度・技能・表現） 絵や図を入れて，学習したことを新聞にまとめることができる。

- 7 本時の目標  
ごみ調べや話し合いを通して、自分なりの課題を持つことができる。
- 8 準備物 写真，カード，ごみ調べのワークシート
- 9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)	
	T 1	T 2
○写真を見て気づいたことを話す。	・ 写真を見せることで，学習への関心を高める。	
○ごみ調べをして，気づいたことを発表する。 ・ 生ごみが多い。 ・ 燃やせないごみが多い。 ・ ごみ袋に町内名や名前を書いている。	・ ごみ調べのワークシートから見つけさせる。	・ 簡単に板書する。
○学習課題をつかむ。	・ 学習課題を提示する。	
疑問に思ったことや調べてみたいことを話し合おう。		
○ごみ調べをして，疑問に思ったことや調べてみたいこと，その理由をカードに書く。 ・ 集めたごみをどこに運ぶのか。 ・ 運ばれたごみはどうなるのか。 ・ なぜ，ごみを分けているのか。 ・ なぜ，ごみ袋に名前を書くのか。 ・ なぜ，ごみを出す日が決まっているのか。	・ ごみ調べのワークシートを参考にさせる。  ・ 理由があまり書けていない児童に助言する。  ☆自分の考えを書くことができたか。 (カード…思考・判断)	
○班の中で，カードに書いたことを紹介し合う。 ・ ○○さんと同じ考えだ。 ・ そんなこと気づかなかった。	・ 話し合いの順序を知らせる。 ・ 自分の思いが伝わるようにゆっくり話すように助言する。 ・ 発表したことについての感想も言わせる。	・ 伝え合うためのルールについて助言する。 (まなざしで聞く，最後までしっかり聞く，場に応じた声の大きさを話す，順序だてて話す，聞く人を見て話す)
○班ごとに全体の場で発表する。	・ 班を回り，話し合いの仕方を支援する。  ☆聞き手にわかりやすく発表していたか。 (発表…技能・表現)	
○次時の学習について知る。	・ 同じ内容のものをまとめるようにする。 ・ いくつかに分類できないか考えさせる。  ・ 次時では，調べ学習をすることを知らせ，意欲を持たせる。	

- 10 授業の観点  
ごみについて，課題を持たせるための手立ては有効であったか。

